



Creative Application A19

# メディア実装の基礎4 記録して継ぐ「アーカイブ」

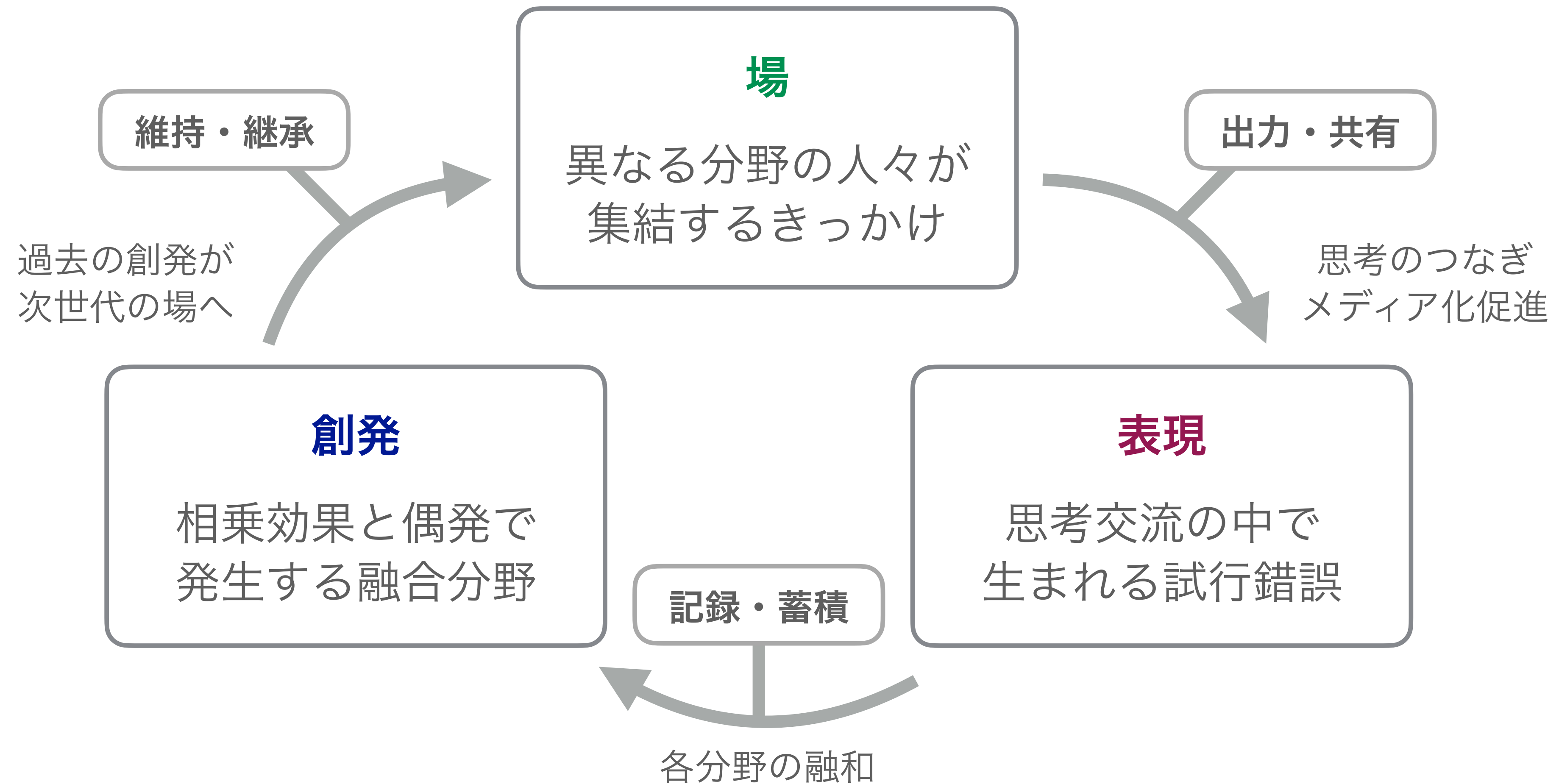
2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 本日のテーマ

- ▶ **メディア表現の蓄積と保管・創発の苗床**

# [A04+] メディア・サイクル



# ノート・メッセージング・コミュニティ

## ▶ ノート

- ▶ 思考の入出力による更新と研磨, 自分自身の動機の確認作業

## ▶ メッセージング

- ▶ 入出力が他者に伝わりやすくするように磨く, メディア表現の性能向上

## ▶ コミュニティ

- ▶ 高密度な表現空間での実装の試行錯誤, メディア表現の社会接続

# アーカイブ1 - 失われる表現

- ▶ 出力(ノート・メッセージング)は時間経過で変化し, 揮発する [A05]
- ▶ コミュニティで多くのメディア表現がなされても失われる → 創発が起きない



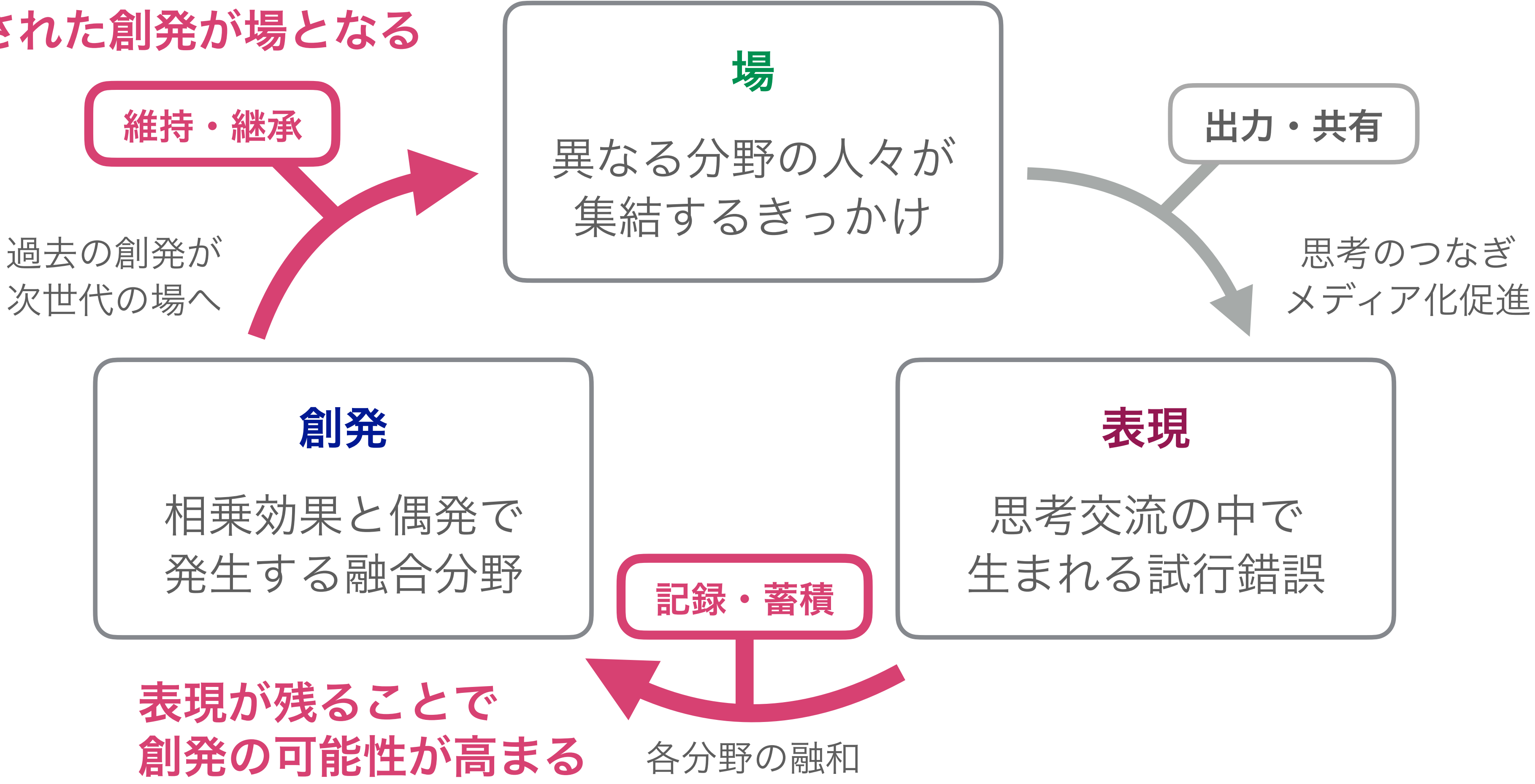
# アーカイブ2 - 保管・確認・更新

- ▶ メディア表現の入出力と併せて、維持するための工夫を意識する必要がある
- ▶ 維持の勘所：時空間変化を考慮した保管, 定期的な確認とアップデート



# アーカイブとサイクル

記録された創発が場となる



# まとめ

- ▶ 場の表現空間が活発になると多くの表現出力が発生している
- ▶ しかし時空間の変化で多くの表現出力が失われ、ほとんどが散逸する
- ▶ **アーカイブ**
  - ▶ 時空間の変化耐性をふまえた出力と貯蔵を検討する
  - ▶ 定期的な出力チェック・アップデートも維持において効果がある
- ▶ メディア実装においては…
  - ▶ メッセージが消えていくと社会と実装の接点を失いかねない (目的の喪失)
  - ▶ 実装を維持し続けるために過程の記録保持は必須といって良い



# 本日の談義・考察一助

- a. 出力表現が失われるタイミングはどのような時だろうか  
ネガティブなパターンを含めて挙げてほしい
- b. アークイブが存在しない社会があるとしたら、どんな様態だろうか
- c. **アークイブを成立させるために必要な要素を様々挙げてほしい**

# 次回予定

**メディア実装の勘所1**

**知覚の連携 「マルチモーダル・メディウム」**

# 参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004